

平成27年度 事業計画書

献眼登録の件数は、各ライオンズクラブ様及び白菊会様のご協力を得て、一定水準を維持している。

26年度は8名の方から献眼いただき、24、25年度の各3名と比較し、増加となった。しかしながら、愛媛県内で移植待ちの患者（レシピエント）の治療を賄うには依然として不足している。献眼者数増加をはかる為の広報活動の充実、また、財務体質等を改善する為の運営基盤をさらに強化する必要がある。

このために、下記の事項を本年度の事業計画として実施するものとする。

記

1. 献眼者の増加をはかるための活動

- (1) 主要医療機関の院内コーディネーターおよび医師との連携を密にする。
- (2) 愛媛大学白菊会との連携をはかり、会員の皆様に献眼についての理解を深めていただくよう働きかける。
- (3) 献眼促進PRのため、調製したポケットティッシュとボールペンを効果的に配布する。
- (4) 愛媛県臓器移植支援センターとの協力関係を維持促進する。
- (5) 献眼者家族へのケアを最大限に行う。

2. 献眼についての理解を深めていただくための活動

- (1) 年1回発行している「愛媛アイバンクだより」を、親しみやすく読みやすい企画にする。
- (2) 「献眼」について、多くの方に理解をいただくよう「講演会」「説明会」の開催を積極的に行う。
- (3) 公共施設等に、「愛媛アイバンクだより」「献眼登録リーフレット」の設置を積極的に依頼する。

3. 運営基盤の強化

- (1) 寄附金の税額控除優遇制度の告知を推進し、新規賛助会員の開拓と賛助会費未納付者の減少をはかる。
- (2) 「募金箱」および「支援型自動販売機」の設置依頼を積極的に行う。
- (3) 献眼時のコーディネーターの対応をより円滑にするため、積極的にセミナー等に参加する。

以上